※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０４ |
|---|---|

# 令和８年度　学環境科

| 教科 | 学環境 | 科目 | （学）ひとと環境 | 単位数 | １単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

環境問題と聞くと、地球温暖化や海洋汚染などの「自然環境」に関する言葉が頭に浮かぶかもしれませんが、「環境」とは人間が営んでいる「社会環境」も含んでいます。この授業は「自然環境」と「社会環境」の２つの環境がお互いにどのように作用しあい、変化するのか科学的に考えていく授業です。

## 2　学習の到達目標

- 環境問題に関する基礎的な知識を習得し、現在の環境を取り巻く状況やその背景、およびSDGsの理念について深く理解できる。
- 環境問題の原因を科学的・体系的に分析して課題を見出し、将来起こりうる諸問題を想定しながら、SDGs を踏まえた解決策を思考・判断している。また、グループ学習での議論や発表を通して、自らの考えをわかりやすく表現できる。
- 環境問題や持続可能な社会の実現に対して当事者意識をもち、グループ学習などの協働的な活動に主体的に参画し、他者と協力しながら諸問題の解決に向けて進んで取り組もうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・ 環境問題に関する知識を身に付けている。<br>・ 他者と協力してグループワークを行い、問題解決する手法を身に付けている。 | ・ 環境問題に関する諸課題について、情報を収集し、自らの意見を持ち、発表できる。 | ・ 環境問題に関する興味関心を高め、知識を身に付け、問題解決の方法を身に付けることに意欲的に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 半期 | 環境問題に関するインプット・アウトプット活動 | ・「自然環境」と「社会環境」について<br>・地球環境の現状<br>・地球環境悪化の原因、資源問題<br>・オゾン層の破壊、地球温暖化<br>・酸性雨、森林破壊<br>・砂漠化・海洋汚染<br>・大気汚染、水・土壌汚染、騒音<br>・課題研究<br>　課題の設定<br>　情報の収集<br>　整理・分析<br>　まとめ・発表<br>　相互評価<br>　振り返り | a:環境問題の課題や状況について、基本的な知識を身に付けている。<br><br>b: 環境問題に関する諸課題について、情報を収集し、多面的に考え、自らの意見を発表できる。<br><br>c: 環境問題に関する興味関心を高め、知識を身に付け、問題解決の方法を身に付けることに意欲的に取り組もうとしている。また、発表に対し生徒間で質疑応答、相互評価することができる。 | 課題レポート<br>小テスト | 課題レポート<br>小テスト | 課題レポート<br>授業での取組み等 |
| | | | | 学習状況<br>プリント<br>レポート<br>発表 | 学習状況<br>プリント<br>レポート<br>発表 | 学習状況<br>プリント<br>レポート<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度